

市民事業等支援制度 評価シート

水源環境保全・再生かながわ県民会議
市民事業専門委員会

1 ねらい

この評価シートは、貴重な水源環境保全税を財源に実施している現在の市民事業等支援制度が、その目的である「水源環境の保全・再生のための県民主体の取組の推進」に資する制度になっているかについて、県民会議委員と補助団体によって評価するためのシートです。

「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」が施行されて今年で4年目となり、現在、次期の実行5か年計画について検討が進められております。そこで、5か年計画における12の特別対策事業の一つとして位置づけられている市民事業等支援制度についても、その見直しが行われることになりました。

水源環境保全・再生かながわ県民会議では、この市民事業等支援制度をより良いものとしていくためにも、現在の制度について評価を行うとともに、皆様方のご意見を踏まえながら、県に対して提言を行っていきたいと考えております。

そこで、現在の市民事業等支援制度が、その目的である「水源環境の保全・再生のための県民主体の取組の推進」に資する制度になっているかについて、県民会議委員と補助団体の皆様によって評価を行うこととしました。

評価結果は、上記目的を達成するため、より利用しやすく、さらに水源環境の保全・再生に資する制度にするための検討に反映させていきます。

この補助制度は、県民の皆様からいただいた個人県民税の超過課税（年額約38億円）を財源として実施されており、県民の皆様に対して、事業の透明性を確保し、説明責任を果たしていくことが、特に求められております。こうした点からも、評価について、ご協力をお願いいたします。

なお、これは市民事業等支援制度のあり方について評価を行うためのシートであり、個々の団体の活動自体を評価するものではないことを申し添えます。

2 制度評価の視点

事業活動と利便性等から現行の制度について下記の視点から評価をお願いします。

(1) ⑤については補助を受けた事業について記入してください。

なお、県民会議委員については、モニター及び団体へのヒアリングにより評価を行ってください。

(1) 事業活動を通じた制度評価の視点

- ①活動内容に広がりや深まりがみられたか
- ②新たな関係性が構築されているか
- ③事業が継続的に展開されているか
- ④団体の自立につながっているか
- ⑤水源環境の保全・再生に資する事業か

(2) 利便性等から見た制度評価の視点

- ①利用しやすい支援制度となっているか
- ②水源環境の保全・再生に係るネットワークが構築出来ているか
- ③目的達成に資する制度になっているか

3 評価方法

評価の視点ごとに、評価のポイントがあります。その達成状況をA～Dの4段階（※）で評価し、記入欄に記入してください。また、記入欄にその評価をした具体的な理由を根拠となる数字とともに簡潔に記入してください。

- ※ A…概ね達成できている（概ね満足できる）
- B…どちらかといえば達成できている（どちらかといえば満足）
- C…どちらかといえば達成できていない（どちらかといえば不満）
- D…達成できていない（不満）

4 事業活動を通じた制度評価

評価の視点	評価のポイント	評価欄	具体的な理由（根拠となる数字など）
①活動内容に広がりや深まりがみられたか	参加者数の増加が見られたか		
	参加者層（年齢層や地域分布など）に広がりや深まりが見られたか		
	事業実施箇所に広がりや深まりがみられたか		
	事業メニューに広がりや深まりがみられたか		
②新たな関係性が構築されているか	補助制度を通じて様々な主体（他団体や基礎自治体など）との関係性が新たに構築されたか		
③事業が継続的に展開されているか	中長期的な事業計画があるか（補助終了後の事業計画があるか）		
	補助が終了した場合の事業継続の見通しは立っているか		
④団体の自立につながっているか	当補助金以外の活動資金は確保出来ているか		
	会員数は増加しているか		

A…概ね達成できている

B…どちらかといえば達成できている

C…どちらかといえば達成できていない

D…達成できていない

⑤水源環境の保全・再生に資する事業か

事業区分	評価のポイント	評価欄	具体的な理由（根拠となる数字など）
特別対策事業区分	森林の保全・再生事業 (間伐材の搬出事業を含む)	水源かん養機能の高い森林に近づいているか (下層植生の回復、林内が明るくなった、皆伐など過度な整備の有無、など)	
		間伐材を有効に活用したか	
		登山道整備等を実施することで、歩きやすい登山道とするなど水源環境の保全に寄与したか	
	河川・水路事業	事業実施後の河川・水路が親しみやすいものとなっているか	
		水辺の生態系に配慮した事業となっているか	
	普及啓発・教育事業区分	水源環境の保全・再生の必要性を伝えるプログラム構成になっていたか	
普及啓発・教育事業が多くの人々の理解を得られたか			
調査研究事業区分	水源環境の保全・再生を図るうえでの基礎データとして有用性があるか		
	調査研究結果が広く活用されるためのPRを行っているか		

A…概ね達成できている

B…どちらかといえば達成できている

C…どちらかといえば達成できていない

D…達成できていない

5 制度の利便性評価

(1) 利用しやすい支援制度となっているか

市民事業支援補助金制度についてA～D段階の4段階で評価していただき、その評価をした理由を具体的に記入してください。その他、制度について気付いたこと等（例：概算払について）あれば、その他の欄に記入してください。

（特にC, D評価をした項目については必ず記入してください。）

評価項目	評価欄	具体的な理由
申請手続き		
審査方法		
対象事業(※)		
補助額		
補助期間		
その他 ()		

※水源環境の保全に資する事業にもかかわらず、対象外となってしまう事業がないか等

(2) 水源環境の保全・再生に係るネットワークが構築出来ているか

現在の制度ではネットワークの構築のため、交流会の実施や県ホームページに各団体のイベント情報・活動支援情報等の掲載を行っております。それらの制度についてA～Dの4段階で評価していただき、その評価をした理由を具体的に記入してください。（特にC, D評価をした項目については必ず記入してください。）

評価項目	評価欄	具体的な理由
交流会 (11月開催)		
公開プレゼンテーション（2次選考会、3月開催）		
県ホームページ		

ネットワークの構築やその他、財政面以外の支援として必要なものを挙げてください。

(
 ・
 ・
 ・
)

A…概ね満足できる

B…どちらかといえば満足

C…どちらかといえば不満

D…不満

(3) 目的達成に資する制度になっているか

現在の市民事業等支援制度が、その目的である「水源環境の保全・再生のための県民主体の取組の推進」に資する制度になっていると考えられるか、全体を通じた制度評価をしてください。また、その他ご意見等ございましたら、自由に記入してください。（この欄に書ききれない場合は、別紙にご記入ください。）

評価シートは以上となります。御協力ありがとうございました。



水源環境保全・再生
イメージキャラクター
「しずくちゃん」